

今年度の指導の重点	津山っ子の学びを高める “3つの提案” 6つの取組
教育目標 ①自ら学び、考え行動する生徒の育成 ②心身ともに健やかな生徒の育成 めざす生徒像 ①自分の夢を持ち、その夢の実現に向けて日々努力する生徒 ②信じ合える友達と互いに磨き合い成長していく生徒	<input type="checkbox"/> 学習や生活のルールを全教職員で共有して児童生徒や保護者へ提示している 当初【 A 】 年度末【 】 <input type="checkbox"/> 授業の中で学習のめあてを持たせめあてについて振り返る場を設定している 当初【 B 】 年度末【 】 <input type="checkbox"/> 言語活動充実のために話し合う活動を大切にしている 当初【 C 】 年度末【 】 <input type="checkbox"/> 学習のねらいに応じてICT活用等による多様な学習を工夫している 当初【 B 】 年度末【 】 <input type="checkbox"/> 授業で学んだことが振り返ることができるような家庭学習の仕方を提示している 当初【 D 】 年度末【 】 <input type="checkbox"/> 家庭地域と共に育てるためにHPや通信等で発信している 当初【 A 】 年度末【 】

※達成度 「S:目標を大きく上回った(100%超)」 「A:目標を十分達成できた(85%以上100%未満)」
 「B:目標を概ね達成できた(70%以上85%未満)」 「C:目標をある程度達成できた(50%以上70%未満)」
 「D:目標をあまり達成できなかった(30%以上50%未満)」 「E:目標を達成できなかった(30%未満)」

調査結果について(調査結果において明らかになったこと)	
【学力状況調査の結果】 全国【3年】 ○国語AB数学AB理科ともに、県平均と比べると正答率が低い。 ○昨年度調査よりも正答率は上がり、県平均との差は縮まっている。 ○国語では「漢字の読み書き」は定着しているが、「文章を丁寧に読みとる」、「文章を考えて書く」ことに課題がある。 ○数学では「文字式」と「1次関数の変域」の問題が特に課題である。 ○理科では「電気」の分野が特に課題である。 県【1年・2年】 1年○国語、数学共に県平均と比べて正答率が低い ○国語 「漢字の読み書き」は定着してきている。「文法語句に関する知識」と「説明文の内容の読みとり」に課題がある。 ○数学 「小数・分数の計算」はほぼ定着してきている。「面積と体積」、「グラフの読み取り」が特に課題である。 2年○国語、数学、英語共に県平均と比べて正答率が低い。 ○昨年度調査よりも正答率は上がり、県平均との差は縮まっている。 ○国語 「漢字の読み書き」、「文法語句」に関する知識は定着してきている。「説明文の読み取り」、「作文を書く」ことに課題がある。 ○数学 「正負の数」、「文字式」、「一次方程式」はほぼ定着している。 ○「比例式」、「不等式」、「おうぎ形の弧の長さ」、「資料の活用」に課題がある。 ○英語 基本的な部分をはじめ、「正しい語順で英作文」、「3文以上の英作文」などに課題がある。	【学習状況調査の結果】 全国【3年】 ○家庭学習の時間 1時間よりも少ない生徒が県平均よりも多い ○家で宿題はできているが、予習復習の時間をかけてできていない傾向である。計画に学習することができる生徒が少ない。 ○読書の時間は30分以上読んでいる生徒は県平均よりも多い。 ○「自分にはよいところがある」と答えた生徒が県平均よりも少ない。 ○「生徒の話し合う活動を通して考えを深め広げられている」と答えている生徒が県平均よりも少ない。
県【1年・2年】 ○テレビ等の視聴時間 3時間以上使用している生徒が県平均よりも多い ○家庭学習の時間 1時間よりも少ない生徒が県平均よりも多い ○あいさつ 多くの生徒ができています	

成果	課題
○昨年度調査の後、ほぼ毎日の数学補充学習に取り組んできた結果2年生、3年生共に正答率は上がってきている。 ○新聞の社説を書き写し、自分の意見を書く課題に全校で取り組んできた。2年生・3年生の国語の無回答率はかなり下がった。 ○家庭学習充実の取り組みの結果、家庭学習時間を1時間以上している生徒が2年生3年生ともに昨年度調査よりも増えている。	○国語では「文章を丁寧に読みとり、適切に書く」事が苦手である。 ○数学では「1次関数の変域」の問題、「面積と体積」、「グラフの読み取り」などが苦手である。 ○理科では特に「電気」が苦手である。 ○英語では基本的な問題が苦手である。

何を(改善すべきこと)	いつまでに(成果検証の期限)	どこまで(対象と達成目標の設定)	どのように(方策)	達成状況(12月末現在)	達成度	達成状況(年度末)	達成度	次年度への改善点・重点課題
数学の基礎的な問題を	3月までに	1・2年生が確認テストで平均正答率7割をめざす。	数学の基礎問題に放課後取り組む(問題データベースを利用する)同じ部分の問題を徹底して繰り返し解き、確認のテストを行う。	問題によっては目標を達成できている。繰り返し問題を解くことで、改善はかなり見られるが、目標は達成できていない。やり抜く姿勢を確認していく。	C			
国語で考えながら文章を書く習慣をつけることを	3月までに	9割以上の生徒が毎回提出する。(社説を書き写して、社会問題について自分の考えを書いて)	宿題で毎週1回の提出に徹底して取り組む。	約90%の生徒が毎回提出できている。考えを書く欄の内容も良くなっている。コメントを書くなどして意欲が続くように工夫している。	A			
家庭学習の定着と充実	3月までに	1年2年3年ともに家庭学習時間 1時間以上の生徒を岡山県平均まで増やす。アンケートにて確認する。	宿題の出し方を変えて、答えを書き写すだけでは終わらない内容にしていく。予習・復習について集会・クラス等で生徒と話す機会を設ける。	11月の調査では1年61% 2年58% 3年73%であった。3年生は目標を達成している。引き続き生徒に考えさせていく。	B			

※達成度 「S:目標を大きく上回った(100%超)」 「A:目標を十分達成できた(85%以上100%未満)」 「B:目標を概ね達成できた(70%以上85%未満)」
 「C:目標をある程度達成できた(50%以上70%未満)」 「D:目標をあまり達成できなかった(30%以上50%未満)」 「E:目標を達成できなかった(30%未満)」

小中連携の取組	保護者・地域へ理解・協力を求めること
○授業規律を引き続き大切にしていけるように、実態や取組のすりあわせを進める。 ○スマートフォン・テレビ・ゲームなどの時間を減らし、家庭学習の時間を増やす取組を進める。 ○生徒指導の研修を進め、生徒同士のつながりを深め、学校適応感を高める取組を始める。 ○授業改善が進むように、小中職員間で授業見学・交流の取組を進める。	○家庭学習の時間が増えるように協力をお願いする。 ○SNSやスマートフォン利用に関する保護者向けの講演会を開催する。